

2018.5.23 <計1枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

国際平和ミュージアム 第116回ミニ企画展示
ミュージアム・この1てん「ガマ（壕のくらし）」開催

国際平和ミュージアムは、下記の日程でミニ企画展示ミュージアム・この1てん「ガマ（壕のくらし）」を開催いたします。

沖縄県が制定した沖縄戦犠牲者を慰霊する日（6月23日）を迎えるにあたり、2016年に当館に寄贈された奥田豊氏の旧蔵コレクションから、沖縄県出身の儀間比呂志氏（1923-2017）が沖縄戦を描いた版画を展示します。儀間氏は、代表作『戦がやってきた 沖縄戦版画集』（中山良彦・文、集英社、1979年）で、アジア太平洋戦争末期の沖縄における地上戦を描いています。本作もその作品群25点のうちのひとつです。

ガマとは、沖縄に点在する鍾乳洞や自然洞穴を指します。県民の12万人以上が犠牲となり、50万人以上が巻き込まれた沖縄戦では、日本軍の司令部や陣地、野戦病院、住民の避難壕として使われました。逃げ場を失った人々がガマへ避難しましたが、ガマの中は十分な食料や医療品が手に入らない悪条件に加え、日本軍の兵士に追い出されることがあるなど、決して安全な避難場所とは言えませんでした。

本展を通して、旧蔵者の奥田氏と作者の儀間氏の沖縄戦への思いを受けとめ、あらためて平和について考えるきっかけにしたいと考えています。

記

会 期：2018年6月2日（土）～7月1日（日）

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム 2階常設展示室内

開館時間：9:30～16:30（入館は16:00まで）

休 館 日：月曜日

見学資料費：大人400円（350円）、中高生300円（250円）、小学生200円（150円）

＊上記（ ）内は20名以上の団体料金です。

＊地階受付または1階特別展受付で見学資料費をお支払ください。

主 催：立命館大学国際平和ミュージアム

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム

担当：西山・加藤

TEL. 075-465-8151

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと

それが立命館のアイデンティティー

Beyond Borders